

## 第5学年外国語科学習指導案

### 単元名 A L Tに伝えよう！自分や身近な人の魅力

指導者：東広島市立高美が丘小学校 山藤 暁子

#### 1 単元の目標

A L Tに自分や身近な人のことをよく知ってもらうために、できることやできないことなどについて、具体的な情報を聞きとったり、自分の考えや気持ちなど、伝えようとする内容を整理した上で、話したりすることができる。また、身近な人のできることやできないことについて例文を参考に書くことができる。

※なお、本単元における「聞くこと」「書くこと」については、目標に向けて指導は行いが、本単元内で記録に残す評価は行わない。

#### 2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 「発表」	〈知識〉 I / He / She can (can't) ～. など、自分や第三者ができることやできないこと、性格を表す表現について理解している。 〈技能〉 I / He / She can (can't) ～. など、自分や第三者ができることやできないこと、性格を表す表現などを用いて、自分の考えや気持ちなど含めて話す技能を身に付けている。	A L Tに自分や身近な人のことをよく知ってもらうために、自分や身近な人ができることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちなど、伝えようとする内容を整理して話している。	A L Tに自分や身近な人のことをよく知ってもらうために、自分や身近な人ができることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちなど、伝えようとする内容を整理して話そうとしている。

#### 3 単元設定の理由

##### 【単元について】

本単元は、小学校学習指導要領（平成29年告示）第2章 第10節 外国語 第2 各言語の目標及び内容等 1 目標 (1) 聞くこと イ 「ゆっくりはつきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。」、(4) 話すこと [発表] イ 「自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。」、(5) 書くこと イ 「自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。」に基づいて設定したものである。

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説外国語活動・外国語編において、「整理」とは、聞き手に分かりやすく伝わるように複数あるものの順番を決めたり、選んだりすることを表している。」と示されており、本単元においては、目的や場面、状況に応じて、文と文の内容のつながりを意識して話すことで、分かりやすく他者に伝わるようにすることとした。

言語材料として、人称代名詞の he および she は本単元が初出であり、児童は自分以外のことを表現する活動に初めて取り組むことになる。今後、児童が生きていくグローバル社会の中で、英語で自己紹介したり、他者を紹介したりされたりする機会は多く訪れるであろうことにも触れ、実生活との結び付きを感じさせることができるものとする。単元終末には、ALTからフィードバックをもらい、英語を話して伝えることができたという実感をもたせることで、外国語の学習に対する意欲を更に高めることができる単元であるとする。

#### 【児童について】

本学級の外国語科に関するアンケートによると、90%の児童が「外国語科の学習が好き」、95%の児童が「英語の学習が必要である」と回答しており、その主な理由として「英語でやり取りすることが楽しいから」、「ALTと話すのが楽しい」、「外国の人とコミュニケーションを取れるようになりたいから」、「将来、仕事をするときに必要だから」を挙げている。これらのことから児童は、外国語科の学習は将来の夢の実現に繋がると感じ、意欲的に取り組んでいることが分かる。一方で、話すことに不安があると回答した児童も36%いる。理由として「どのように話したらよいか分からない」を挙げており、児童が抵抗感なく話すことができる指導の必要性があるとする。

#### 【指導に当たって】

本単元では、単元のゴールとして、「ALTに伝えよう！自分や身近な人の魅力」という言語活動を設定した。単元の始めに、児童にALTからのビデオメッセージを視聴させる。児童のことをより深く知り、もっと会話がしたいというALTの思いを受けて、児童は紹介する内容について考え、単元のゴールに向けた見通しを立てる。その上で、単元のゴールに向け、段階的に内容が深まっていくように、児童は「何を伝えるか」、「どれを伝えるか」、「どの順で伝えるか」等、相手を意識して伝える内容を整理し、表現内容の再構築を繰り返す。その際、端末の活用による録画記録を基にした自己評価、児童同士の相互評価、教師からのフィードバックなどを通して、児童が自身の発話を内容面と言語面から振り返り、自らの学習を改善できるようにする。

話すことに苦手意識をもつ児童への手立てについては、デジタル教科書の音声を繰り返し聞かせたり、他の児童の録画等を参考にして表現の仕方を学ばせたりすることで、自信をもって英語を話すことができるようにしたい。

このような活動の中で、新たに第三者を紹介する表現に慣れ親しませ、話して伝える技能を身に付けさせることはもちろん、児童一人一人に、既習表現を活用したり、関連させたりする必然性を感じさせながら単元のゴールに向かわせることができるように指導していきたい。また、単元終末には、児童はALTからのフィードバックをもらうことで、英語で話して伝えることができたという実感を獲得できるようにする。

4 指導と評価の計画（全9時間）

時	目標◆・活動○	各時間の目標に対応した 児童の発話例	評 価			
			知 技	思 判 表	主 学 態	評価規準 〈評価方法〉
1	◆単元のゴールの見通しをもち、学習計画を立てる。 ○単元のゴールイメージをもち、学習計画を立てる。 ○Small Talk ○Let's Chant and Sing ○Listen and Think ○Let's Talk	I can (can't) play the guitar. This is my friend.				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
2	◆身近な人のできることやできないことについて具体的な情報を聞き取ることができる。 ○Small Talk ○Listen and Think ○Let's Chant and Sing ○Watch and Think	He / She can (can't) play the guitar. This is my friend. Can you / he / she ~ ?				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
3	◆身近な人のできることについて、友達に紹介することができる。 ○Small Talk ○Let's Listen ○Let's Try ○Let's Read and Write	This is my mother. She can play the guitar.				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
4	◆身近な人のできることや性格について、友達に紹介することができる。 ○Small Talk ○Let's Listen ○Let's Talk	This is my mother. She is active. She can play the guitar.				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
5	◆身近な人のできることや性格について、伝えようとする内容を整理して、友達に紹介することができる。 ○Small Talk ○Let's Talk	This is my mother. She is active. She can play the guitar. She can cook well, too.				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
6	◆友達に自分や身近な人のことをよく知ってもらうために、できることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちも含めて話すことができる。 ○Small Talk ○Let's Talk ○Let's Read and Write	This is my mother. She is active. She can play the guitar. She can cook well, too. I can play the piano. I like music.	発			「話すこと〔発表〕」の記録に残す評価 ◎I / He / She can ~. など、自分や第三者ができることやできないこと、性格を表す表現などを用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。

7	<p>◆A L Tに自分や身近な人のことをよく知ってもらうために、できることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちも含めて話すことができる。</p> <p>○Small Talk ○Let's Think ○Let's Speak</p>	<p>I'm Kaori. I like music. I can play the piano. This is my mother. She is active. She can play the guitar. She can cook well, too.</p>	<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
8 (本時)	<p>◆A L Tに自分や身近な人のことをよく知ってもらうために、できることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちなど、伝えようとする内容を整理して話すことができる。</p> <p>○Let's Think ○My Time ○Activity ○Share Time</p>	<p>I'm Kaori. I like music. I can play the piano. I like my mother. She is active. She can play the guitar. She can cook well, too.</p>	<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
9	<p>◆A L Tに自分や身近な人のことをよく知ってもらうために、できることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちなど、伝えようとする内容を整理して話すことができる。</p> <p>◆単元目標の達成状況を振り返る。</p> <p>○Reflection Time</p>	<p>I'm Kaori. I like music. I can play the piano. I like my mother. She is active. She can play the guitar. She can cook well, too. She can cook curry and rice.</p>	<p>罫 罫</p> <p>「話すこと〔発表〕」の記録に残す評価  ◎A L Tに自分や身近な人のことをよく知ってもらうために、できることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちも含めて話している。(録画動画)  ◎A L Tに自分や身近な人のことをよく知ってもらうために、できることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちも含めて話そうとしている。(行動観察・振り返り)</p>

## 5 単元のゴールとなる言語活動

<p>コミュニケーションの目的・場面・状況等</p>	<p>A L Tに自分や身近な人のことをよく知ってもらうために、できることやできないことなどについて伝えたいことを整理し、自分の考えや気持ちも含めて話す。</p>
<p>「概ね満足できる状況」と判断できる児童の姿（発話例）</p>	<p>I'm Kaori. I like music. I can play the piano. I like my mother. She is active. She can play the guitar. She can cook well, too. She can cook curry and rice.</p>

## 6 本時の目標

- ALTに自分や身近な人のことをよく知ってもらうために、できることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちを整理して話すことができる。

## 7 本時の展開

主な学習活動 児童の姿 <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">        </span>	○教師の働きかけ ◇配慮を要する児童への手立て
1 Greeting  2 Let's Think	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">めあて ルーカス先生に自分や家族・友達のことをよりよく知ってもらえるように、伝える内容を整理して話そう。</div>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的・場面・状況を確認する。</li> <li>・よりよく伝えるための工夫について考える。</li> </ul> 3 My Time① <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の動画等を視聴し、本時のめあてに沿った内容を考える。</li> </ul> 4 Activity① <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えた内容等を交流する。</li> </ul> 5 Share Time① <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表の工夫等について共有し、本時のめあてに沿った内容かを確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・“She can cook ～” と追加情報を入れて詳しくした。</li> <li>・“Do you like ～?” とALTに質問を入れて相手の興味をひいた。</li> <li>・自分はできないが、紹介する人にはできることについて紹介した。</li> </ul> </div> 6 My Time② <ul style="list-style-type: none"> <li>・Share Timeをもとに再度、本時のめあてに沿った内容を考えたり修正したりする。</li> </ul> 7 Activity② <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えた内容等をグループで発表したり、自分で修正したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的・場面・状況を明確にするとともに、表現の工夫を確認し、本時の見通しをもたせる。</li> <li>○端末を使用し、前時までの発表を確認させる。</li> <li>○前時までの録画記録やデジタル教科書等を参考にさせ、よりよく自分の思いを伝える表現を考えさせる。</li> <li>◇他児童の録画やデジタル教科書を参考にさせる。</li> <li>○交流する際の視点を示すことで、児童の思考が深まるようにする。</li> <li>○友達の内容と比較させることで、表現の工夫・新たな表現等に気付かせ、情報を整理し、内容を再構築させる。</li> <li>○中間評価を行い、よいスピーチや児童の発言を取り上げ、工夫のよさや困った点について児童と共通理解し、後半の活動を行わせる。</li> <li>○友達や教師からのフィードバックを参考にし、内容を再構築させる。</li> <li>◇他児童の録画やデジタル教科書を参考にさせる。</li> <li>○交流する際の視点を示すことで、児童の思考が深まるようにする。</li> </ul>

